

福岡県

大刀洗町における
地域共生社会の
実現に向けた
包括的支援体制
構築事業
について



大刀洗町社会福祉協議会

地域福祉係長 池松 昌亀

大刀洗町の状況

H30.4.1現在

- 人口 15,567名
- 世帯数 5,377世帯
- 65歳以上人口 4,195名
- 高齢化率 26.9%
- 行政区 25区
- 中学校 1
- 小学校 4
- 保育所 5



平成29年度までの地域福祉活動

○小地域福祉活動

・要援護者見守りネットワーク事業 (H22~)

→行政区別の「小地域協議会」【ほぼ全行政区組織済み】

(高齢者を中心とした『要援護者』を身近な地域で支えるための組織)

(日常的な「見守り活動」と、定例的な「情報交換」の実施) (各区4回/年)



社協・包括職員が必ず参加

→地域の「最新の情報」を地域から入手できる。

→社協・包括が関わるケースを地域と「共有」できる。(本人の了解が必要)

→町内の社会福祉法人や福祉事業所も参加している。

(他人事を「我が事」に変えていくような働きかけをする場)

平成29年度までの地域福祉活動

- 地域から出てきた『課題』を解決する機能が未整備
- そもそも『課題』は地域からしか出てこないのか？
- 地域が「目をそらしている課題」もあるはず！

地域における【支援】 ⇔ 地域における【排除】

紙一重！（視点の変換・正しい認識）

これから整備が必要なこと

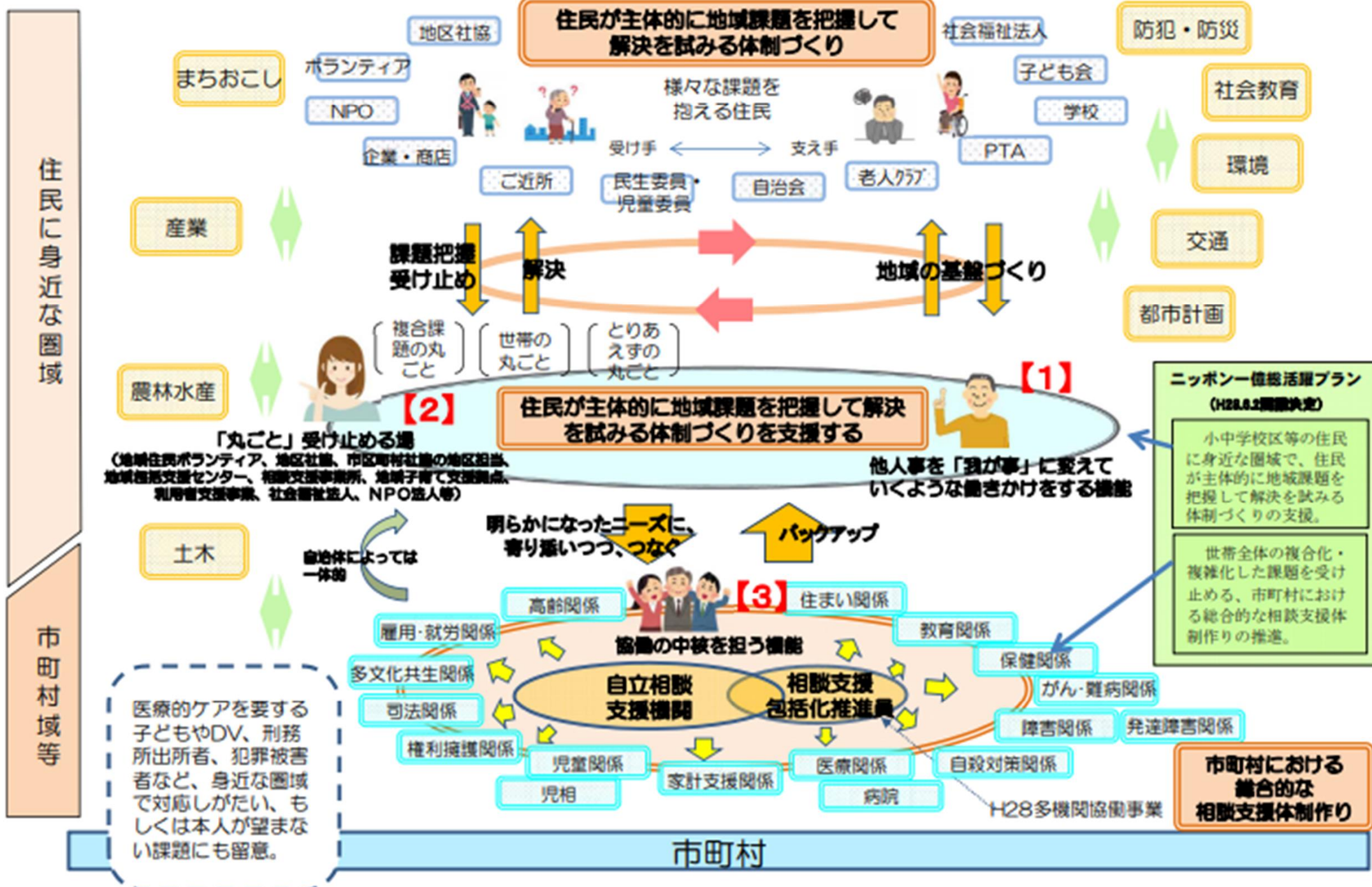
地域住民が課題を「我が事」として正しく受け止めることができる

福祉教育

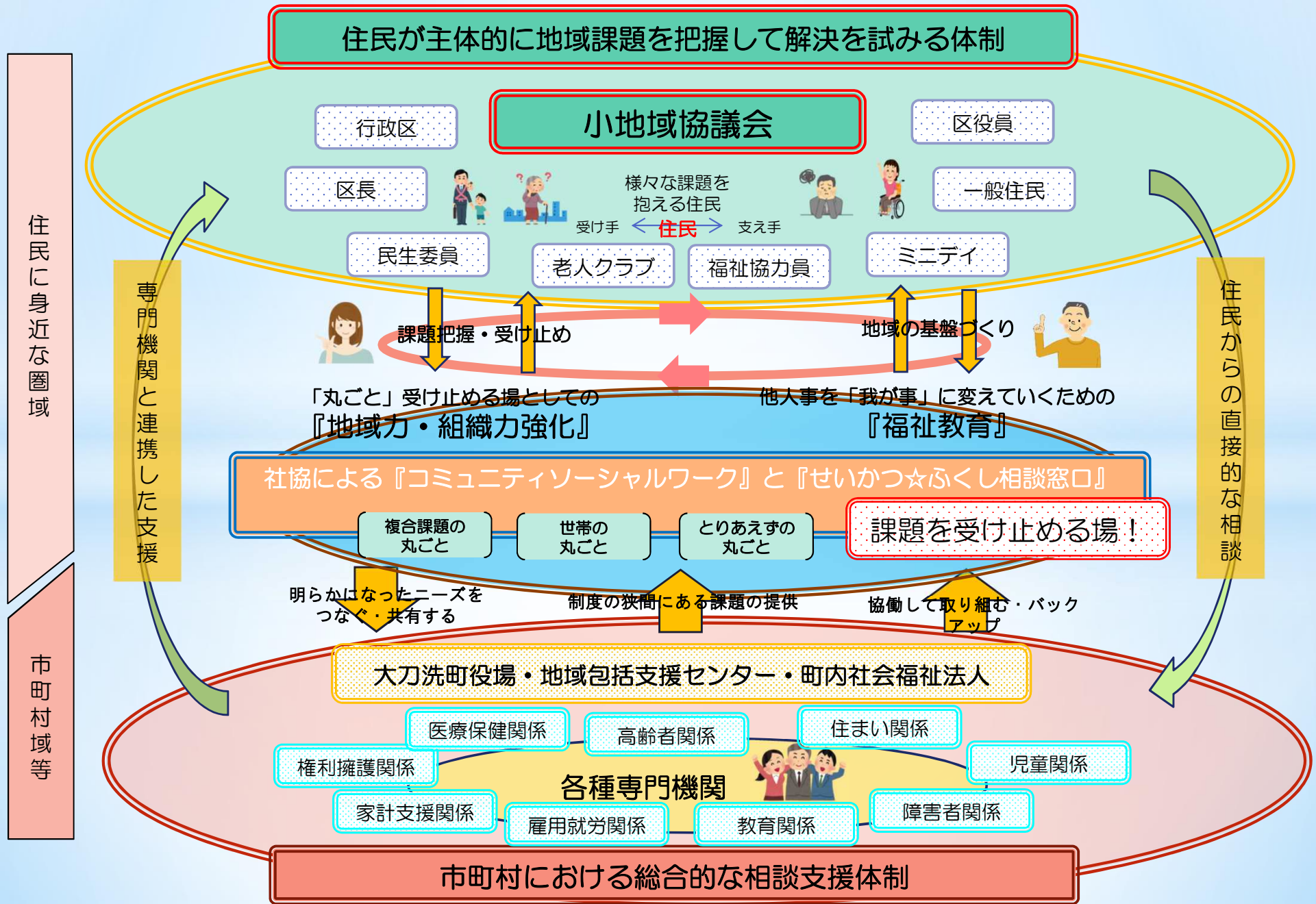
専門機関が課題を「丸ごと」受け止めることができる

相談窓口の設置・連携体制の構築

地域における住民主体の課題解決力強化・包括的な相談支援体制のイメージ



大刀洗町における地域力強化推進事業の課題解決体制イメージ



総合福祉相談窓口

せいかつ☆ふくし相談窓口を開設します

生活のなかの悩み、...

家族の介護や子育て...
いろいろありすぎて、
どこに相談したらいいのかわから...



お金がない...
仕事はしたいけど、
働いたことないからなあ...

仕事や将来の悩み、...

どんな事業なの？

困りごとや悩みごとがあるのに、どこに相談したらいいかわからない。
家庭の中で、生活や福祉に関する困りごとがありすぎて整理がつかない、など。
そんな困りごとに対し、相談窓口の紹介や解決に向けた支援をお手伝いします。

ひとりで抱え込まず

まずは、相談してみませんか？

相談は無料です。お気軽にご相談ください。

...いつまでも地域で自分らしく元気な生活を送れるように...

＜連絡先＞
大刀洗町社会福祉協議会 TEL: 0942-77-4877

〒830-1201 大刀洗町大字富多 819 (ぬくもりの館大刀洗)

外に出て働いてみたい...

社会に出て、みんなに認めてもらいたい...

安心して生活できる基盤が欲しい...

当たり前と思っていたことが、当たり前でできなくなってきた現在、

こんなことに困っていませんか？

- ・長くひきこもっていたけど、親も高齢だからなんとかしないと...
- ・お金の管理が苦手で借金が重なっている。生活が破綻してしまう...
- ・人との関わりが苦手だけど、何か人の役に立てることはないかなあ...
- ・片付けが苦手で家の中がぐちゃぐちゃ。どうしたらいいのかわからない...
- ・仕事をしたいけど、社会に出ることに不安を感じている...

前に進みたいと思っている人の最初の窓口として、専門機関と協力しながら良い方向に進めるようお手伝いします。

来所、またはお電話を！

せいかつ☆ふくし相談窓口

大刀洗町社会福祉協議会(ぬくもりの館大刀洗内)

電話 0942-77-4877

※相談者の抱える問題に対して、一緒に解決していくための相談窓口です。

※仕事を紹介するわけではありません。

※生活のための資金を支援することはありません。

※相談内容によっては、他の専門機関と連携して困りごとの支援を行うこともあります。

※全ての相談がすぐに解決できるわけではありません。

せいかつ☆ふくし相談窓口のながれ



相談窓口が分からない！

相談者

相談窓口が分かる！



専門機関⇒解決



困っている内容を整理できない！



せいかつ☆ふくし相談窓口

整理⇒専門機関（相談先）がない！
解決するための制度がない！



地域や専門機関と連携⇒支援

整理⇒専門機関（相談先）がある！

平成30年度から・・・

○総合福祉相談窓口

『せいかつ☆ふくし相談窓口』の設置

○あらゆる課題を地域に投げかける

小地域協議会への『福祉教育』の強化

○制度の狭間、複合的な課題解決のための

行政機関内・専門機関との『連携体制構築』

○町内社会福祉法人の強みを生かすための

『社会福祉法人連絡会（仮）』の組織化を目指し、

情報交換会を重ねています。